

議会だより

新しい議会がスタート

**議長・副議長を選出
各委員会構成が決定**



Contents

議会構成紹介	2
令和2年度予算	4
議案等審議	6
請願・陳情の審査結果	9
一般質問（質問者9名）	10
閉会中の議会活動	15
次回定例会の開会予定	16

那珂市議会議員改選

新しい議員による議会がスタート

那珂市議会議員の任期満了に伴い、令和2年3月10日から新たな顔ぶれでの那珂市議会が始まりました。この度では、正副議長、常任委員会など、新しい議会の構成をご紹介します。



議長

福田 耕四郎

いじめ防止

今日、私たちを取り巻く環境は、日々刻々と変化し、自然災害への備えや少子高齢化対策など様々な課題が山積をしております。議長として、しっかりと議会運営を進めるとともに、市民の皆様の声を十分に受け止め、市政に積極的に提言を行って、那珂市の発展に寄与してまいり所存でございます。

今後も、市民の皆様に信頼される、開かれた議会を目指し、議員一丸となって議会改革を推進してまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



副議長

木野 広宣

いじめ防止

この度、那珂市議会副議長の大任を拝し、身の引き締まる思いでございます。

市民の皆様のご意見を議会に反映し、開かれた議会を目指してまいります。執行部とも密に連携を図りながら、議会改革を更に前進させるとともに、元気で住みよい街づくりの実現に向け、邁進していく所存でございます。

皆様方からのご指導、ご鞭撻を頂きながら、議長を支えて、議会運営に懸命に取り組んで行くことをお誓い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

総務生活常任委員会

主に、市の政策や企画、総務、財政、市民や自治組織、環境、防災、消防、市議会の事務のほか、他の委員会に属さない事項について審査する委員会です。



- (写真右から)
- 木野 広宣 委員
 - 君嶋 寿男 委員
 - 小泉 周司 委員
 - ◎勝村 晃夫 委員
 - 笹島 猛 委員
 - 萩谷 俊行 委員

産業建設常任委員会

主に、農業、商工業、観光、道路、都市計画、建築、上下水道、農業委員会の事務に関する事項について審査する委員会です。



- (写真右から)
- 木野 広宣 委員
 - 花島 進 委員
 - 小池 正夫 委員
 - ◎大和田和男 委員
 - 福田耕四郎 委員
 - 石川 義光 委員

教育厚生常任委員会

主に、障がい者福祉、子育て、高齢者福祉、介護保険、保険年金、健康福祉、生涯学習、教育委員会の事務に関する事項について審査する委員会です。



- (写真右から)
- 古川 洋一 委員
 - 寺門 厚 委員
 - 原田 陽子 委員
 - ◎富山 豪 委員
 - 關 守 委員
 - 武藤 博光 委員

原子力安全対策常任委員会

原子力関連施設の安全対策などを所管します。

- ◎武藤 博光 委員
- 花島 進 委員
- 石川 義光 委員
- 古川 洋一 委員
- 笹島 猛 委員
- 君嶋 寿男 委員

議会運営委員会

議会の円滑な運営のための調整を行うほか、議会改革の推進を担当します。

- ◎萩谷 俊行 委員
- 富山 豪 委員
- 小池 正夫 委員
- 大和田和男 委員
- 寺門 厚 委員
- 勝村 晃夫 委員

※委員名上部の記号は、
◎…委員長、○…副委員長

令和2年度のお金の使い方が決まりました

一般会計予算

208億円

特別会計予算総額

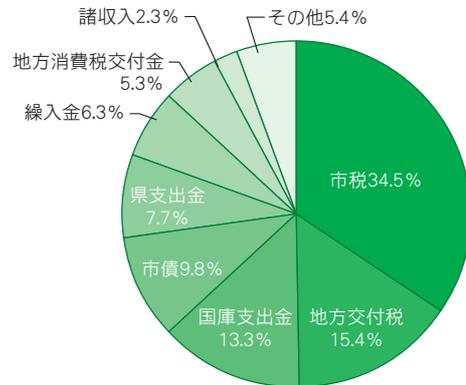
105億5270万円

3月10日に、市長から令和2年度の予算案が提出されました。予算の審議は、3月18日、19日、23日の3日間にわたって、各常任委員会で行われました。その結果、全ての予算案が市長の提案どおり可決されました。

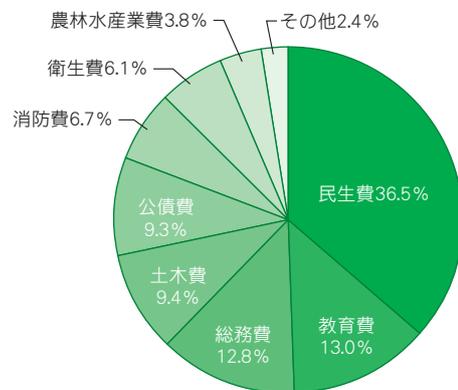
ここでは、今回決定した令和2年度のお金の使い方と、主な事業についてご紹介します。

会計別予算額

一般会計	208億円
特別会計	
国民健康保険	51億6000万円
公園墓地事業	1270万円
介護保険	47億円
後期高齢者医療	6億8000万円
下水道事業会計	
収益的支出	17億5762万5000円
資本的支出	19億5270万3000円
水道事業会計	
収益的支出	11億2721万9000円
資本的支出	16億6790万7000円



一般会計歳入



一般会計歳出



いい那珂協力隊推進事業
事業費
 1899万円

令和2年度の新規事業として、地域おこし協力隊を導入します。隊員は地域外から来た客観的な視点を活かして、農業の活性化や静峰ふるさと公園のにぎわいづくりに取り組めます。

令和2年4月 **運転免許自主返納等支援事業**

運転免許の「自主返納」とは？
 加齢・障がい・病氣により「運転に不安を感じている方」「家族から返納を勧められている方」などが運転免許の**有効期限内**に申請により運転免許を返納することです

支援の目的
 ・高齢者等の交通事故の防止のため
 ・免許証を自主返納した市民の移動手段を確保するため

対象者
 ・申請時において那珂市内に住居登録をしている方
 ・運転免許を自主返納又は失効し、その日から1年を経過していない方
 ・市税等の滞納がない方

支援内容
 デマンド交通「ひまわりタクシー」特別利用券【100円券×150枚】
15,000円分を交付します

※今後返納をしない目的で免許の更新を受けなかった場合も対象になりました！

＜注意＞
 ・交付回数はお1人様1回限りです
 ・交付されたかた本人のほか、本人と同居親族・介助人も使用できます
 ・特別利用券の有効期間はありません
 ・現金への換金及び再交付はできません

運転免許自主返納等支援事業
事業費
 72万3000円

平成30年より実施している高齢者等への運転免許自主返納支援について、ひまわりタクシーの特別利用券1万5000円（有効期間は無期限）の交付に拡充し、本格実施します。

- その他 令和2年度の主な新規事業**
- ・活力あふれるまちづくり検討事業 199万4000円
 - ・冠水対策推進事業 5287万円
 - ・瓜連支所整備事業 7000万円
 - ・都市計画基礎調査事業 1300万円
 - ・国勢調査費 1891万9000円
 - など



子育て世代 包括支援センター事業
事業費
 331万8000円

妊娠・出産・子育てに関する各種相談に応じ、情報提供や支援プランの策定、関係機関との連絡調整を行い、妊産婦及び乳幼児の健康保持、増進に関する包括的支援体制を構築します。

●令和2年 第1回定例会●

那珂市の

こんなことが決まりました

◆会期 18日間 3月10日～27日

《傍聴者 79人》

今回提出された議案等は

市長提出案件…35件

請願・陳情…1件

議員提出案件…0件

計36件

提出された議案等とその結果

※請願・陳情の内容は別途掲載しております。
9ページをご覧ください。

議案等番号	議案等名	内容	結果
報告1	専決処分について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定）	市の過失による事故等に対する損害賠償額の報告。	—
議案1	那珂市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴うもの。内容は、特別職非常勤の要件が厳格化され、見直しが行われたため、条例の一部を改正するもの。	可決
議案2	那珂市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴うもの。内容は、会計年度任用職員のサービスの宣誓について具体的な方法が示されたため、条例の一部を改正するもの。	可決
議案3	那珂市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の改正に伴うもの。内容は、引用する同法の名称及び用語を規定する条文の条番号を変更するもの。	可決
議案4	那珂市空き家等対策協議会設置条例の一部を改正する条例	令和2年4月1日から空き家等の適正管理に関する分掌事務が、所管替えになることに伴うもの。主な内容は、条例に記載されている市民生活部防災課を建設部建築課に改めるもの。	可決
議案5	那珂市コミュニティセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	総合センターらほーるの機能回復訓練室をリニューアルすることに伴うもの。主な内容は、使用料について改正するもの。	可決
議案6	那珂市印鑑条例の一部を改正する条例	国の印鑑登録証明事務処理要領の改正に伴うもの。主な内容は、印鑑の登録を受けることができない者を変更するもの。	可決
議案7	那珂市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の公布に伴うもの。内容は、放課後児童支援員が受講する研修の実施機関の追加及び受講期間の経過措置を延長するもの。	可決
議案8	那珂市地区体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	令和2年4月1日から、新たに本米崎体育館（旧本米崎小学校の体育館）を管理することに伴い、条例の一部を改正するもの。	可決
議案9	令和元年度那珂市一般会計補正予算（第7号）	歳入歳出それぞれ7億8718万3000円を増額し、総額を216億1157万4000円とするもの。主な内容は、GIGAスクール推進事業における工事請負費と備品購入費の増額など。	可決
議案10	令和元年度那珂市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第5号）	歳入歳出それぞれ1億8978万2000円を減額し、総額を55億4430万円とするもの。主な内容は、一般被保険者療養給付費等の減額など。	可決
議案11	令和元年度那珂市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	歳入歳出それぞれ3億4815万4000円を増額し、総額を24億9815万4000円とするもの。主な内容は、一般管理費における積立金の増額など。	可決

議案等番号	議案等名	内 容	結果	
議案12	令和元年度那珂市公園墓地事業特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ380万1000円を増額し、総額を1670万1000円とするもの。内容は、一般会計繰出金の増額。	可決	
議案13	令和元年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計補正予算（第4号）	歳入歳出それぞれ6767万5000円を減額し、総額を12億5275万2000円とするもの。主な内容は、農業集落排水整備費の減額。	可決	
議案14	令和元年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第5号）	歳入歳出それぞれ251万9000円を増額し、総額を47億4591万1000円とするもの。主な内容は、介護給付費準備基金積立金の増額など。	可決	
議案15	令和元年度那珂市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ472万6000円を減額し、総額を6億4627万4000円とするもの。内容は、広域連合納付金の減額。	可決	
議案16	令和2年度那珂市一般会計予算	新年度予算（4ページを参照）	可決	
議案17	令和2年度那珂市国民健康保険特別会計（事業勘定）予算		可決	
議案18	令和2年度那珂市公園墓地事業特別会計予算		可決	
議案19	令和2年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算		可決	
議案20	令和2年度那珂市後期高齢者医療特別会計予算		可決	
議案21	令和2年度那珂市水道事業会計予算		可決	
議案22	令和2年度那珂市下水道事業会計予算		可決	
議案23	公の施設の広域利用に関する協議について		対象施設の追加、削除に伴い、改めて協議し、協定を締結するため、地方自治法に基づき議会の議決を求めるもの。	可決
議案24	那珂町・瓜連町新市まちづくり計画の変更について		東日本大震災に伴う合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の改正に伴うもの。内容は、合併特例債を起こせる期間が5年間延長されたことに伴い、計画の変更を行うもの。	可決
議案25	市道路線の認定について		市道路線7件の認定のため、道路法に基づき議会の議決を求めるもの。	可決
議案26	市道路線の変更について	市道路線3件の変更のため、道路法に基づき議会の議決を求めるもの。	可決	
議案27	市道路線の廃止について	市道路線12件の廃止のため、道路法に基づき議会の議決を求めるもの。	可決	
議案28	市有財産の処分について	上宮駅北側市有地を処分するため、地方自治法及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に基づき議会の議決を求めるもの。	可決	
議案29	那珂市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	行政組織の見直しに伴うもの。内容は、行財政改革推進室長の役職を見直したため、条例の一部を改正するもの。	可決	
議案30	那珂市副市長の選任について	副市長の任期満了に伴い、後任者を選任するもの。	同意	
議案31	那珂市教育委員会教育長の任命について	教育長の任期満了に伴い、同教育長を再任するもの。	同意	
議案32	那珂市教育委員会委員の任命について	教育委員1名の任期満了に伴い、同委員を再任するもの。	同意	
議案33	那珂市監査委員の選任について	監査委員1名の任期満了に伴い、後任者を選任するもの。	同意	
議案34	那珂市固定資産評価審査委員会委員の選任について	固定資産評価審査委員会委員1名の任期満了に伴い、後任者を選任するもの。	同意	
陳情1	日本原子力発電 東海第二発電所の再稼働に対し、那珂市議会として反対を表明して欲しい、という陳情	提出者：東海第二原子力発電所の再稼働に反対する那珂市民の会 代表 小山 祐子	不採択	

賛否が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対

※議長（福田耕四郎議員）は採決に加わりません。

議案等名	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		原田陽子	小泉周司	小池正夫	福田耕四郎	石川義光	關守	大和田和男	富山豪	花島進	寺門厚	木野広宣	古川洋一	萩谷俊行	勝村晃夫	武藤博光	笹島猛	君嶋寿男	欠員
陳情第1号 日本原子力発電 東海第二発電所の再稼働に対し、那珂市議会として反対を表明して欲しい、という陳情	不採択	×	×	×	-	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	×	-
議案第30号 那珂市副市長の選任について	可決	賛成：12票 反対：4票（無記名投票）																	

◆報告事項

那珂市自転車活用推進計画の策定状況について

自転車活用による地域活性化等に向けた取り組みを総合的・計画的に推進するため、那珂市自転車活用推進計画の策定に向けての取り組み状況について報告がありました。

基本方針は、日常生活における市民の自転車利用促進と、観光振興に向けた自転車活用推進の2つです。

これまでの取り組み状況として、那珂市自転車活用推進協議会を2回開催したほか、自転車利用に関する市民アンケート調査や、市職員によるサイクルプロジェクトチーム会議、試走会などを行ってきました。今後、策定作業を進めていき、パブリックコメント等を実施した上で、9月の策定を目指していきます。

Q 現在の道路状況で自転

車の利用促進を図るのは危険が伴います。道路整備も併せて考えるべきではないでしょうか。

A 路面標示など、出来る整備は計画に盛り込んでいきます。

Q 観光振興より中学生等の通学の安全を確保することを優先するべきではないでしょうか。

A 計画は観光に特化したものではなく、日常の自転車利用にも十分に配慮していきます。

産業建設常任委員会

◆報告事項

公共下水道全体計画見直しの検討状況について

現在、公共下水道全体計画の見直しに向けた作業を行っています。家屋間限界距離を5メートルとして検討単位区域を設定し、その区域分けの作業が終了したとのことです。

検討単位区域は、家屋間

限界距離である5メートル以内に隣の家屋があれば、5戸以上を単位として設定され、合計で206区域あり、現在の未計画区域5789世帯のうち、3287世帯を検討単位区域内の家屋としたとのことです。

Q 公共下水道の整備の優先順位はどのように決めていくのでしょうか。

A 過去の下水道審議会において、公共施設、学校周辺等の様々な要因を考慮したポイント制となっています。

Q 地域の住民の考えや期待と担当部署との考えに隔たりがある。地域の声を聞いて事業に反映させていくことが必要と考えますがいかがでしょうか。

A 公共下水道の計画区域でも、合併処理浄化槽のほががいいという住民もいます。住民の意見を聞き、臨機応変に対応していきます。

◆議案第16号

令和2年度那珂市一般会計予算

○障害者差別解消推進事業 (515万1000円)

障がいの有無によって分け隔てなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障がいを理由とする差別の解消を推進するため、障がい者差別解消相談室を設置・運営します。そのほか、市内公共施設の利用環境改善(バリアフリー化)の推進、市内民間事業者等への合理的配慮の提供に要する費用の助成、ヘルプマーク等の配布を行って、市民の障がい理解の促進を図ることを目的とした事業です。

Q 公共施設のバリアフリー化はどのように改善する予定ですか。

A 担当職員と障がいのある当事者が一緒に現地を回

り、合理的配慮を要する箇所を点検します。大きな改修であれば、管理している部門に提言し、簡単な修繕で済むものは予算内で行う予定です。

Q 修繕のための予算はどれくらい計上していますか。
A 100万円を計上しています。

Q 合理的配慮を提供する民間事業者の補助はどのような内容ですか。

A 飲食店やスーパーなど多くの人が利用する事業所に対し、点字メニューの作成、段差解消のスロープなどを設置するための補助金等を考えています。

原子力安全対策常任委員会

◆報告事項

令和2年度原子力防災実施事業の概要について

原子力発電所の不測の事態を想定した原子力防災訓練を実施し、緊急時における市、関係機関及び住民の

防災体制を図るものです。実施時期は令和2年11月を予定しています。

原子力災害時の避難等に関する市民アンケートについて、令和2年5月を予定しており、主に避難先や避難手段、避難時の課題、支援に関しての実態を把握するための調査内容です。

地区原子力災害避難計画の策定について、地域での避難支援等について具体的な事項を示す避難要領として地区ごとに個別に策定するものです。

Q 原子力防災訓練についてPAZ圏内を優先実施しますか。

A 今年度、PAZ圏内は住民避難の実動訓練を実施し、UPZ圏内は屋内退避のみ実施します。

Q 地区原子力災害避難計画について、地区ごとに考慮して計画の策定を行っていただきたい。
A 検証しながら策定を進めていきます。

請

願

陳

情

今回の定例会で採決した請願・陳情の概要をお知らせします。

《請願 0件／陳情 1件》

※昨年12月定例会から継続審査となっていた陳情第8号は、3月9日の議員の任期満了に伴い、審議未了となりました。

陳情第1号

日本原子力発電東海第二発電所の再稼働に対し、那珂市議会として反対を表明して欲しい、という陳情

不採択

那珂市豊喰32・9

東海第二原子力発電所の再稼働に反対する那珂市民の会

代表 小山 祐子

東海第二発電所の再稼働に対し、那珂市議会として反対を表明することを求めるものです。

委員会の審議では、原発の安全対策や広域避難計画

などについて議論が尽くされていないため、今回は不採択にすべきであるとの反対討論と、事故のリスクを考えるとメリットはなく、東海第二発電所は廃炉にすべきであり、陳情を採択すべきという賛成討論がありました。

本会議での採決の結果、不採択と決定しました。

一般質問

Q & A

《質問者 9名》

※一般質問の記事は、質問した議員が各自で作成しており、内容や表現については各議員の文責において掲載しています。

- P 11 花島 進 議員**
- ◇東海第二原発の再稼働問題について
 - ◇新型コロナウイルス問題への備えについて
 - ◇救急車の到達時間と生活道路の整備状況などについて
 - ◇国民健康保険について
 - ◇ひまわりバスの廃止について
 - ◇市の職員の新規採用と継続雇用などについて

- P 11 原田 陽子 議員**
- ◇新型コロナウイルス感染対策のための一斉臨時休校について
 - ◇自然災害への備えについて

- P 12 古川 洋一 議員**
- ◇障害者総合支援法に基づく福祉サービスについて
 - ◇学校教育の向上について

- P 12 小泉 周司 議員**
- ◇スポーツクラブとの連携について
 - ◇かわまちづくり事業（河川敷グラウンド整備）について

- P 13 寺門 厚 議員**
- ◇新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について
 - ◇令和2年度予算について
 - ◇コミュニティの在り方について
 - ◇通学路の安全対策について
 - ◇少子化対策について

- P 13 關 守 議員**
- ◇イノシシ駆除について
 - ◇那珂川氾濫復旧工事と県道のかさ上げについて
 - ◇多目的グラウンド（かわまちづくり）の運用方法について

- P 14 武藤 博光 議員**
- ◇東海第二原発の再稼働の是非について
 - ◇新型コロナウイルスの市の対策について
 - ◇市内街灯の維持費を市負担へ

- P 14 大和田和男 議員**
- ◇新型コロナウイルスに関する感染症対策について
 - ◇市内各地域の住環境整備について

- P 15 富山 豪 議員**
- ◇人口減少対策について
 - ◇瓜連地区の活性化対策
 - ◇総合計画の見直しについて

新型コロナウイルス問題への備えについて

市の備えはどうなっていますか

市民への感染防止に努めます



花島 進 議員

Q 一般のコロナウイルス対策では、国の備えと対応の悪さが目立ちます。感染症関連の予算・人員が減らされ続け、中小の病院も縮小あるいは廃止する圧力がありました。クルーズ船内の感染への対応もよくありませんでした。そのあとも考え不足が多いと思いませんか。県も保健所の統合を進めました。

那珂市の対応はいかがですか。特に対策本部に、医療や感染症に見識のある方が入っているのか、また、その方が意思決定に関与できるようになっていきますか。

A 保健福祉部長 那珂市
新型コロナウイルス等対策行動計画を準用して、2月26日に那珂市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置しました。市長を本部長

として、副市長、教育長、各部長を構成員としています。医師等は構成員におりませんが、現在のところ、保健所と連絡を密にして情報の入手、共有を図りながら本部会議を進めていきます。今後、保健所長や市内医療機関の医師と連携を図り、医学的な見地からの助言をいただきながら対策を検討していきたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症については、いまだ不明な点も多く、感染拡大防止の対策が十分に確立されていないことから、対応に苦慮していますが、今後の県内及び市内での感染者発生時に備え、国・県の対応方針を参考にしながら、市民への感染防止に努めていきます。

自然災害への備えについて

避難所の環境整備と備蓄状況は

環境の整備と備蓄を推進していく



原田 陽子 議員

Q 新型コロナウイルスなどの感染症が猛威を振るう中、大規模災害が発生してしまった場合、避難所で感染拡大を防ぐのは非常に難しいです。しかし、避難所の環境に配慮することで感染リスクは低減します。そこで、避難所での空間、温度、プライバシー、トイレなど、避難所の環境はどのように整備されていますか。

A 市民生活部長 中央公民館、総合センターらぼーる、総合公園、ふれあいセンターよこほり・よしの。ごだいの6つの拠点避難所には、防災倉庫を設置し、食料・飲料水を備蓄しているほか、発電機・投光器なども装備しています。

避難スペースについては、簡易の目隠しテントや問仕切りを配備してお

り、女性やお子様のプライバシー確保は可能です。また、電源が喪失していただければ、冷暖房完備であり、トイレも和式、洋式、多目的と装備されています。

Q 避難生活に必要な備蓄品の備蓄状況や備蓄量の考え方についてお伺いします。

A 市民生活部長 避難生活で最低限必要となる物資を備蓄しています。備蓄量は東日本大震災のピーク時の避難者数20000人をベースに考え、食料・飲料水は3日分を想定し、生活用品は想定避難者数の20000人に女性の割合、年齢層、使用量などを考慮し購入しています。消毒用アルコール、小児用おむつは他課で所有しています。今後も計画的に備蓄を推進していきます。

障害者総合支援法に基づく福祉サービスについて

手話奉仕員養成研修の実施を

早期の実施に向けて取り組みます



古川 洋一 議員

Q 障害者総合支援法に基づく障がい者福祉サービスの一つに、市区町村が行う地域生活支援事業として「手話奉仕員養成研修」があります。手話奉仕員とは、意思疎通を図ることに支障がある障がい者が自立した日常生活を営むことができるようにするため、手話で日常生活を行う際に必要な手話語彙や手話表現の技術を習得して支援を行う

方のことを言いますが、より専門性の高い手話通訳者に至る前のステップとして通らなければならない道であり、底辺拡大の意味においても手話奉仕員の養成は大変重要だと思えます。また、茨城県手話言語の普及の促進に関する条例においても、市町村の役割として、手話の普及に関する施策の実施に努めるとされています。

す。手話奉仕員養成研修事業は任意ではなく必須事業とのことですから、本市でも早期に実施すべきです。市のお考えを伺います。

A 保健福祉部長 日常会話程度の手話表現技術を習得した手話奉仕員を養成することは、聴覚障がい等をお持ちの方との交流活動の促進や、市が広報活動上の支援者としても必要であると考えています。

障がいをお持ちの方や関係団体ばかりでなく、手話に関心をお持ちの方など講座へ参加の可能性が見込まれる方を含め、広く一般の市民の方に対して周知をし、アンケート調査を行うことでニーズの把握に努めるとともに、近隣市町村との連携も併せて検討し、早期の実施に向けて取り組んでいきます。

かわまちづくり事業（河川敷グラウンド整備）について

グラウンドの早期使用を求める

早期使用に向けて国と協議を行う



小泉 周司 議員

Q かわまちづくり事業の概要について伺います。

A 教育部長 戸多地区の那珂川河川敷に、イベントや屋外スポーツの場として利用できる多目的広場、水辺学習ができる水遊び場、駐車場、散策道路などを整備し、スポーツ大会や地域イベントなど、にぎわいを創出する場所と位置づけています。

Q 事業費はどの程度かかるとでしょうか。

A 教育部長 事業全体で国が約4億5000万円、市が約9000万円の事業費を見込んでいます。

Q 事業のスケジュールはどのようになっていますか。

A 教育部長 国の工事は令和2年3月で終了します。市の工事は現在工事中で、令和4年3月に工事を終える予定です。

Q グラウンドの使用開始時期はいつになりますか。

A 教育部長 全ての工事が終了した後の、令和4年4月となります。

Q グラウンドについては、昨年、地域の方やスポーツ団体の協力を得て芝張りが終わっており、使用することが出来ます。また、市の工事は水遊び場などグラウンドに関係しない工事を残している状況です。整備が終わっているグラウンドの早期使用開始を求めます。

A 教育部長 安全性の確認が必要ですが、先行開放に向けて国と協議を始めます。

Q グラウンドの管理について、早急に地元や関係団体と協議の場を設けることを求めます。

A 教育部長 協議会を開催し協議してまいります。

令和2年度予算について

国道118号線の4車線化進捗は 早期完了へ那珂市総力上げ取組む



寺門 厚 議員

Q 令和2年度本市の予算は前年比6・7%増の大型予算となっています。市税増収が見込めるものの、財政状況は依然として厳しい現状の中、財源確保はどのように行いましたか。

A 市長 ひまわりバスを運行休止しデマンドタクシー利用拡大への切り替えで1454万円の経費削減を図るなど前例にとらわれないう事務事業の見直しや創意工夫を凝らした事務効率化、行財政改革の継続推進により経費節減を図りました。

Q 今年は市長就任2年目を迎えます。市長公約事項の進捗状況について2件お伺いします。①国道118号線の4車線化の進捗状況とどうすれば早く整備が完了するのかお伺いします。②農業の振興に重要な本市の販売拠点（ふれあい

ファーム芳野、とんがりはつと、JA直売所）の維持・拡大及び見直しについては、どのように考え、実行していきますか。

A 市長 ①国道118号線の4車線化は国や県に要望書を提出し事業推進中で、現在、中里まで事業が進んでいます。早期完了に向け、国や県、議会や市民の協力を得ながら、前向きな姿勢と継続的な活動を重視し、道路行政を進めていきます。②今年度予算で、儲かる農業の実現を図る地域農業の活性化やアグリビジネス推進戦略を策定します。市内販売拠点の利用者拡大を図る施策については、地域おこし協力隊による活動など、新たな事業計画との調整や事業者と連携を図り、販路の開拓・拡大を進めます。

那珂川氾濫復旧工事と県道のかさ上げについて

復旧工事の進行状況は 堤防盛土と護岸工事を進める予定



関 守 議員

Q 今回の台風を受け、地元では堤防の整備や冠水した県道日立笠間線や長沢水戸線のかさ上げが必要ではないかとの意見があります。現在はどういうようになっているのか伺います。

A 建設部長 今回の台風被害を受け、国土交通省では、那珂川水系における今後の治水対策の取り組みとして、国、県、市、町など関係機関が連携した「那珂川緊急治水対策プロジェクト」を立ち上げ、被害を抑制するための取り組みを始めたところ です。

県道のかさ上げについて、県道管理者である茨城県常陸大宮土木事務所では、まずは、冠水被害の原因となった、那珂川の堤防整備や河川改修を最優先に進める必要があるとの見解です。

Q 台風被害を受けた那珂川では、現在どのような復旧工事が行われていますか。

A 建設部長 台風19号により決壊した下江戸地内の那珂川右岸、城里町側の堤防については、国土交通省において、応急復旧工事 completed しており、今後は次の台風時期までの完了を目標に、計画堤防高までの堤防盛土と河川側の法面をコンクリートブロック張りで補強する護岸工事を進める予定です。

また、現在は堤防盛土材に利用する砂利採取や改良作業ヤードの整地工事など、堤防本復旧工事に向けた準備工事を行っています。

東海第二原発の再稼働の是非について

市長における再稼働の見解は

市民の安心安全を最優先に判断



武藤 博光 議員

Q 平成30年11月に原子力規制委員会より東海第二原発の20年間の延長が認可され、茨城県と6市村の事前了解が必要になってきます。原電は1700億円もかけて巨大な防潮堤を作るという、令和2年度那珂市の一般会計予算200億円の8年分以上の投資を行います。

有事の際、市民は筑西市や桜川市に避難する計画がありますが、避難先での高齢者の方が通う病院、小中学生の学校、家族の勤務先など不透明です。住宅ローンと避難先アパートの家賃の二重払いと経済的に困惑します。

現在は東京電力管内で原子力発電は行われていなくてもエネルギー需要は間に合っていて、那珂市民64・8%が反対の意向があります。

す。6市村の一つの自治体の首長が反対すれば、結果として再稼働できなくなります。

再稼働を容認して原発事故が発生したら、住民から訴訟される心配もあり、法律的にも重要な判断となります。市長の見解はいかがですか。また、再稼働を問う県民投票条例制定を求める署名が必要数を超えましたが、併せて見解を伺います。

A 市長 広域避難計画の策定及び市民の理解が得られない限り再稼働は認められません。議会のご意見を十分に考慮し、市民の安心安全を最優先に考え慎重に判断したいと思います。

県民投票条例に関しては、県民の関心の高さの表れであると感じています。

市内各地域の住環境整備について

公共下水道全体計画の見直しを

令和2年度内に素案を出します



大和田和男 議員

Q 市民の声を聴き、未計画区域の公共下水道全体計画の見直しを求めます。

A 上下水道部長 公共下水道・合併処理浄化槽の役割分担を定め、全体計画の見直しを行います。素案がまとまった段階で説明会等で市民の皆様にご説明させていただきます。

Q 市街化区域の周辺の市街化調整区域には移住定住を促進できるような地区が多くあります。市街化区域の宅地化率も63パーセントに上がってきました。市街化区域を拡げる線引きの見直しも視野に入れてみるのはいかがでしょうか。

A 建設部長 現在の国の考え方はこれまでの拡大型の市街地形成からコンパクトなまちづくりへと、大きくシフトしています。線引きの見直しによる市街化区

域の拡大は非常に難しいです。

Q では、見直すのではなく、見直しが必要というところまで宅地化率を上げなければなりません。それは人口減少対策にもつながります。市街化区域の未利用地を解消し、都市基盤の早期整備を求めます。

A 市長 市街化区域にまだ多くの未利用地が存在しているのは、未整備の都市計画道路や狭隘道路きょうがいなどの整備が遅れているからです。早期にこれらの都市基盤の整備に着手したいですが、限られた財源の中で効率的に事業を推進するためには国の交付金や県の支援が必要です。これらの関係機関に要望活動を行い、財源を確保しながら、迅速かつ効果的に推し進めていきます。

転用の手法を考えていただきたい

情報収集を行っていききたい



富山 豪 議員

Q 現在、瓜連地区の市街化区域は瓜連駅周辺の市街地と平野台団地の2つに分かれた状態になっていま

A 建設部長 平野杉本線沿道については、既存集落の基本となるおおむね50戸以上の建築物の連たんが確保できないとともに、農業振興地域の整備に関する法

律に基づく農用地区域となつてることから、制度上、優良農地に関しては区域指定を行うことができないため、現状では難しいと

考えています。Q 確かに農振法においては、優良農地の転用は原則として認めないと記されて

いますが、他の自治体の例として、つくばエクスプレスの用地取得に際して例外的措置がとられたと伺っています。何らかの手法はあると考えますが、いかがですか。

A 建設部長 民間事業者等による市街化調整区域の開発に関する都市計画法上の手続きとしては制度上、いくつかあると認識しています。具体的にどのような土地利用をするかによって、その手続きは変わってくるものと思われま

トピックス

閉会中
議会活動レポート

定例会閉会中（12月～2月）的那珂市議会の主な活動をご紹介します

活動日誌

12月

20日 議会広報編集委員会

1月

6日 議会広報編集委員会

15日 議会広報編集委員会

2月

16日 那珂市議会議員選挙投票日

22日 新人議員説明会



まちかど

ニュース

風情ある鳥居と咲き誇る桜

令和2年4月3日(金)

静神社にて

次回6月定例会

日	月	火	水	木	金	土
5/31	6/1	2	3	4	5	6
7	8	9 本会議 (議案上程など)	10	11 本会議 (一般質問)	12 本会議 (一般質問)	13
14	15	16 総務生活 常任委員会	17 産業建設 常任委員会	18 教育厚生 常任委員会	19 原子力安全対策 常任委員会	20
21	22	23	24	25 議会運営委員会 全員協議会	26 本会議 (委員長報告、 議案等採決)	27
28	29	30	7/1	2	3	4

※会議は、原則として午前10時開会です。

令和2年第2回定例会：6月9日～26日

令和2年第2回（6月）定例会の日程(案)は左のとおりです。

会議は原則公開となっています。所定の用紙にご記入いただくだけで、どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

また、請願・陳情を議会へ提出される場合は、5月29日(金)17時までに、議会事務局までご提出ください。

議会録画映像を公開しています

那珂市議会では定例会、臨時会の本会議の録画映像を「You Tube」の動画サイトで公開しています。詳しくは、那珂市ホームページの「那珂市議会」のページをご覧ください。

(「那珂市議会」のページ内の「議会中継」から「You Tube」を開くことができます。)



編集後記

議員として新たな4年間の任期が始まり、広報編集委員会も新しいメンバーで活動していきます。

委員長として、議会広報誌を通じて、議会から市民の皆様へ

お届けしたい情報を分かり易くお伝えするとともに、市民の皆様が必要とする情報をお届けできるよう、紙面づくりに努めてまいります。新たな広報誌にご期待ください。(小泉 周司)

議会広報編集委員会

委員長	小泉 周司
副委員長	小池 正夫
委員	原田 陽子
委員	石川 義光
委員	大和田和男
委員	木野 広宣